

JA自己改革推進レポートについて

令和5年7月25日
JA鳥取県中央会

1. JA自己改革実践状況

(1) JA鳥取いなばの取り組み

①第28回JA鳥取いなば女性会大会・家の光大会

JA鳥取いなば女性会は6月10日、鳥取市のとりぎん文化会館で第28回女性会大会・家の光大会を開いた。会員やJA役職員ら約250人が参加し、体験発表では、佐治支部の中谷みどりさんが「日々の暮らしや地域とのつながり、JA女性会活動を通じて仲間と関わる中で、家の光は欠かせない。」と発表した。女性会は「家の光」三誌を活用し、教育文化活動の意識を高め、仲間づくりを積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs）を実践していく。



②新規採用職員が二十世紀梨の大袋かけ体験

令和5年4月にJA鳥取いなばに入組した新規採用職員10人が6月21日、岩美町立岩美南小学校敷地内の梨園で「二十世紀梨」の大袋かけに挑戦した。

農作業体験を通じ、作物を育てる喜びや、JA職員としての資質向上につなげる。同JA岩美支店の職員も協力し、新人職員は袋を膨らませ、葉をかき分けながら一個一個丁寧に袋をかけた。



③令和5年度教育文化セミナー

J A鳥取いなばは6月29日、鳥取市の同J A本店で令和5年度教育文化セミナーを開いた。同J A役職員、子会社、女性会ら約70人が参加した。家の光協会西日本普及文化局の岡本忠副局長が「組合員・組合員組織メンバー・地域住民との“つながりづくり”をすすめるJ A教育文化活動と家の光事業」と題して講演し、教育文化活動に取り組む重要性を学んだ。全支店チャレンジ「家の光」ディスプレイコンテストでは、最優秀賞に智頭支店、優秀賞に若桜支店が輝いた。



以上